

令和4年9月6日  
政策経営部

## 昭和信用金庫三軒茶屋支店の設置機能(案)について

### 1 主旨

昭和信用金庫三軒茶屋支店の建替えに伴い、世田谷区民会館別館「三茶しゃれなあどホール」(以下、「三茶しゃれなあどホール」という。)及びマイナンバーカード(以下、「カード」という。)専用窓口を設置する案をとりまとめたので、報告する。また、昭和信用金庫側の建て替えスケジュールに合わせ、詳細設計について協議していく。

### 2 経緯

令和3年度、昭和信用金庫より、三軒茶屋支店の建替え後の建物の一部について、区への活用意向の打診があった。三軒茶屋分庁舎は築50年が経過していることから、区としても分庁舎内にある機能移転の検討を行い、令和3年12月に昭和信用金庫三軒茶屋支店の建替え後、建物の一部を活用する旨の要望書を提出し、令和4年3月には20年の期間を基本とした賃貸借契約を結ぶ内容の覚書を取り交わした。その後の検討については、三軒茶屋分庁舎にある機能移転に加え、太子堂出張所の混雑、就労支援など、三軒茶屋という立地の特性も踏まえた他の事務所機能の需要も考慮しながら、幅広い視点で検討を行ってきた。

現在、先方の建替えスケジュールに沿い、各フロアの整備内容について協議を行っている。

### 3 対象施設

#### (1) 所在地

三軒茶屋1-41-10

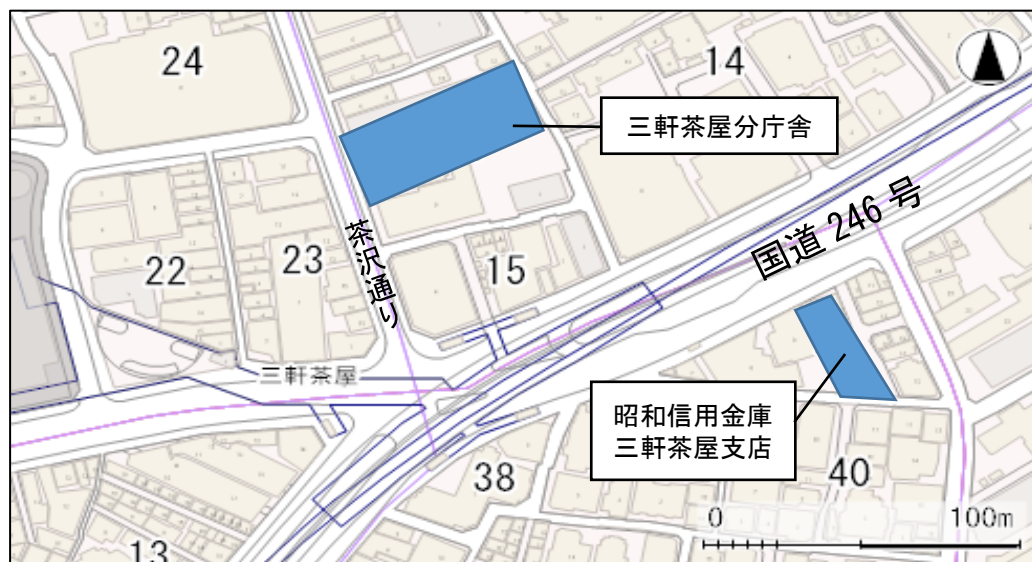
#### (2) 施設概要

RC造：地下1階、地上6階

#### (3) 賃貸借対象面積

約1,500㎡

※地下1階の一部、1階の一部(駐車場、駐輪場)、3～6階を昭和信用金庫からの賃貸借とし、区が使用する。



#### 4 検討内容

- (1) 三茶しゃれなあどホールの移転に関しては、三軒茶屋という立地に加え、駅からの距離、面積や音響、天井高等、ホール機能を備えた建物が必要であり、今回、建替えを行う本建物はこれらの条件を満たすことができる。
- (2) 三軒茶屋分庁舎にある経済産業部は、令和9年度に本庁舎へ移転するが、現在、分庁舎内にある産業振興公社も含めた産業プラザ機能について、区及び関係団体等で、機能のあり方に関する検討を進めている。今後の方向性を踏まえ、設置場所について検討していく。
- (3) 太子堂出張所における混雑の一因として、カード取得率向上による、カード関連業務の取扱い件数の増加があり、三軒茶屋という立地から、区内全域より多くの区民が手続きに来所するため、総処理件数年間約15万件のうち、住所異動と同時に変更処理しなければならない5千件以外に、住所異動を伴わないカード関連手続きが約2万5千件あり、近隣でこれらの処理ができる窓口が必要である。
- (4) 令和4年度末から実施予定の引越しワンストップサービス及び令和7年度から実施予定の基幹業務システムの標準化では、カード利用による事務が予定されており、カードの活用場面は大幅に拡大する。このことから、カードに関する今後の処理件数は、住民異動を伴わない処理である新規交付件数の増に加え、カード更新件数や電子証明書の再発行などの件数が増えると予想（R2：約17万件→R7：約25万件）しており、全区的に対応できる新たな窓口を区内の生活や交通利便性の良いところに設置する必要がある。
- (5) 本年度より、STKハイツに就労関係施設を集約し、運用を開始しており、三軒茶屋にあるおしごとカフェや障害者就労支援センターも含め、就労関係機能の評価を今後行うとともに、他の三軒茶屋周辺機能も含め、各施設の役割や連携について検討を進めていく。

#### 5 設置機能

- (1) 区民利用施設の更新を確実なものとし、区民が引き続き使用できることを第一に、ホール機能を維持・向上できる本建物に三茶しゃれなあどホールを移転する。
- (2) 太子堂出張所の混雑緩和及びカードの今後の処理件数へ対応するため、専用窓口を本建物内に設置する。また、窓口での交付等をより迅速かつ効率的に実施するため、現在エムケイアースビルにある事務室をあわせて移転する。

新たに設置する窓口では、原則予約制を導入して、カードの交付・申請手続きや、暗証番号再設定や電子証明書再発行等の住所異動を伴わないカード関連手続きに対応し、待ち時間が発生しないよう効率的な事務執行に取り組むことで、年間9万件程度の処理を行い、他の窓口の混雑緩和にも寄与するものとする。

太子堂出張所については、住所異動を伴わないカードの処理を原則行わないことや、他の各種申請等のデジタル化を効率性や利便性向上の観点から検討、実施していくことで、混雑の緩和を図る。

また、現在、キャロットタワーに設置している専用窓口については、新たに設置する窓口へ統合する方向で検討し、三軒茶屋におけるカード処理の事務分担を明確にする。併設している住民票・印鑑証明発行窓口は、スペースの拡充による利用環境の向上等について検討していく。

なお、新たな窓口設置後におけるカードの発行等の手続き方法の変化やその件数を見極め、窓口の必要性については改めて検討する。

## 6 設置における各機能の考え方

## 《各フロア機能一覧》

階層	機能	面積	現施設との面積比較
6階	しゃれなあどホール 第2集会室「スワン」 定員42名 *1	78.08 m <sup>2</sup>	16.72 m <sup>2</sup>
	しゃれなあどホール 第3集会室「ビーナス」 定員36名 *1	64.65 m <sup>2</sup>	12.20 m <sup>2</sup>
	控室（新設）	12.25 m <sup>2</sup>	12.25 m <sup>2</sup>
	しゃれなあどホール 第2集会室「スワン」 ・第3集会室「ビーナス」倉庫（新設）	28.90 m <sup>2</sup>	28.90 m <sup>2</sup>
5階 *4	しゃれなあどホール 第1集会室「オリオン」 定員135名 *2	205.66 m <sup>2</sup>	▲69.10 m <sup>2</sup>
	しゃれなあどホール 第1集会室「オリオン」倉庫	20.90 m <sup>2</sup>	▲16.00 m <sup>2</sup>
4階	しゃれなあどホール 第4集会室（新設） 定員54名 *3	90.60 m <sup>2</sup>	90.60 m <sup>2</sup>
	しゃれなあどホール 第4集会室倉庫（新設）	20.02 m <sup>2</sup>	20.02 m <sup>2</sup>
	しゃれなあどホール受付・事務室・バックヤード	42.00 m <sup>2</sup>	▲18.20 m <sup>2</sup>
	マイナンバー事務室	65.27 m <sup>2</sup>	49.48 m <sup>2</sup>
3階	マイナンバー窓口・事務室	266.09 m <sup>2</sup>	
地下1階	防災倉庫（新設）	99.75 m <sup>2</sup>	99.75 m <sup>2</sup>

\*1 面積を拡充するとともに、双方の一体利用を可能とする利用形態は継続。

\*2 室内柱等の制限のない集会室を整備し、利用者の利便性向上を図る。

\*3 集会室を新設することで、用途に応じた集会室機能を確保する。

\*4 5階の階高を他フロアと比べ高く設計することで、ホールとしての利便性向上を図る。

※その他、EV動線の確保、入り口等段差の解消によるバリアフリー化を図るとともに、駐車場、駐輪場を設置することで、施設利用者の利便性の向上を図る。

## 7 概算費用

- (1) 昭和信用金庫三軒茶屋支店の賃貸借料については、周辺の賃料相場に新築という要素を加味し、現在、年間1億908万円を想定している。
- (2) 現在の三茶しゃれなあどホール部分を返還し、年間4,446万円の削減を見込んでいる。また、令和9年度に経済産業部が本庁舎に移転することに伴うフロア返還から、さらなる削減が見込まれる。
- (3) 国によるカード交付窓口の設置に伴う賃借料への補助は、今年度までの予定であるが、今後の国の動向を注視し、補助金等活用の可能性を検討していく。

## 8 今後のスケジュール（予定）

令和4～5年度 内容調整

令和6年度 昭和信用金庫三軒茶屋支店へ区施設機能設置（三茶しゃれなあどホール等）